

箱根組ニュース

第279号 2016年 2月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

高川山周辺は美しい霧氷の林、雪深い林の中で落下する霧氷の中を歩く。

2016年の幕開きは雪を楽しみながら富士を仰ぎとうと、高川山に向かいました。雪の少ない今シーズンでしたが2〜3週間前に東京でも大雪が降り現地ではかなりの雪があると予想しての出発でした。

1月31日(日)、二日ほど前までは雨マークも出ていた天気予報は当日は晴れの予想に変わるラッキーなスタート。

東京駅発7時19分の中央特快高尾行に乗車。終点高尾のホームに停まっていた乗り換えの中央本線甲府行きは以外にも空いていて全員座れる。

大月駅に8時57分着。9時3分発の富士急行河口湖行きに乗車。乗換はパسم、スイカが使えるようになっていて改札が素通り出来てこれまた便利になった。

禾生(かせい) 駅に9時13分着。電車を降りて周囲の山を見ると白っぽく桜の花が咲いているように見える。なんだろうと考えたら「霧氷」だった。霧氷

で山が、特に落葉樹が氷に覆われそれが遠くから見ると桜が咲いたように見えるのだ。とにかく美しい景色だ。

降り立ったのは、有倉、宗像夫人、川名夫人、星野、戸丸の5名。駅前で身支度とストレッチをする。

9時35分、星野さん先頭で歩き出す。以前、高川山は北側のJR初狩駅からのコースが多かったが今回は南東の富士急線禾生駅からのアプローチだ。コースが違ふとまた新しい気分だ。

駅前の線路を渡り、中央自動車道河口湖線をくぐり、住宅地の間を進む。道横にはたくさん雪が残っている。

9時40分、桂川にかかる川茂橋を渡る。橋の先の突き当りを左に曲がる。川に沿って少し進む。

9時43分、右、高川山の標識が出て右に緩い坂を登ってゆく。少し高度が上がり振り返ると、霧氷の山々が一層美しく見える。左手方向には真っ白い富士が荘厳なまでに輝いていた。

9時55分、登りきったところで分岐



になる。地図に熊峠とあるがここかもしれない。歩いて暑くなったので一枚脱ぐ。水分補給して分岐を右に下ってゆく。日陰で雪が多い。右に回るように進んでゆくと古宿の集落だ。左に分岐が現れるが二つ目の分岐を左折。右に送電線の鉄塔がある。

10時半、集落の最後の家の前で林道が突然広い雪の原になり一瞬間に惑うが、わずかな踏み跡通りに右に回りながら進むとまたはつきりと林道が現れる。林道が雪に覆われ道が隠れていたのだ。左に回り込みながら登ってゆく。ここで小休止、給水。有倉さんから白く粉のふいた美味しい干し柿をいただく。

大月駅前前の打ち上げの残金81円を会計に入雪。ひたすら白い道を進む。

現在の収支	
繰越収入	38884 円
	81 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	37565 円

切手残数
82円切手
187枚

山道は雪、雪、山頂に向かう分岐に到着。山頂まで右、70分、左シラノサワコース90分とある。左に進む。すぐに小さな沢を渡る。雪

が多くコースがはつきり見えない。戸丸が先頭になる。偶蹄目（二本爪）の鹿の足跡がはつきり見える。我々もけもの道を歩いていることに気が付く。イノシシらしき踏み跡も見える。コースの頼りは唯一、何日か前に歩いたと思われる誰かの踏み跡だ。これを頼りに深い雪の中につま先を突き刺すように（キックするように）進む。

気温が少し上がり枝から雨とも氷ともつかないものがばらばらと落ちてくる。霧水が溶けて落ちてくるのだ。濡れないように合羽を着る。

針葉樹の林を抜けると霧水攻撃は少なくはなるがまだまだ落ちてくる。雪深い斜面をキック歩行で九十九折れに登ってゆく。陽ざしが斜面の雪を輝かせる。

11時過ぎ、子尾根に登り道は右に曲がる。雪が少なめになり歩きやすくなってくる。先頭をまた星野さんに交代。尾根の雪は林の中より溶けて柔らかくなっている。

2月21日（日）は小松丘陵です。

ラクダコース

○草戸山、城山湖の東に位置する小松丘陵です。橋本駅北口から津久井神奈交バス5番乗り場で大戸行に乗車。境橋バス停下車。ここから歩きます。

※豚汁を作ります。

○持ち物 昼食、ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ（予備電池）、地図、筆記用具、救急薬品（三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ちり紙（ロールペーパー）、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

●申し込みは2月19日（金）までに

集合 2月21日（日）京王線新宿駅
7:26発（準特急）高尾山口行き
（前から3両目車内）

途中駅発

笹塚 7:30 明大前 7:32 千歳烏山 7:37

調布 7:42着（乗り換え）7:44発
（区間急行）橋本行き
橋本 8:11着（バス乗り換え）
大戸行（5番乗り場）境橋下車

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール：satorutomaru@gmail.com

メール：tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

11時半、もう一つ上の尾根に出る。目の前で霧氷の姿を見る。枝を氷が包む



ように枝の形通りに凍っている。氷の芸術だ。針葉樹は樹氷のようにも見える。凍てついた尾根の美しさは平地では体験できない

い。明るい尾根は雪が少なくなり、林の中は雪深い。少し急な尾根を登ってゆく。12時5分、目の前に鎖とザイルの付いた10mほどの岩が現れる。山頂直下の岩場だ。一人ずつ慎重に登る。全員無事にクリア。

12時15分、高川山に登頂。山頂はたくさん登山客でにぎわっていた。周囲の山々の景色が美しい。残念ながら富士は雲が出ていて少ししか見えなかったが、周囲の白く霧氷をまとった山々は素晴らしい。

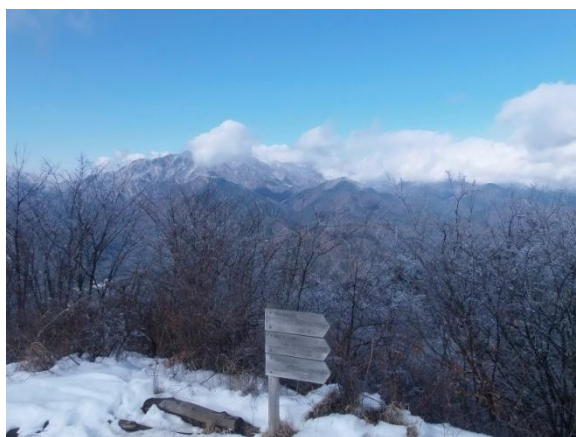
風のない南面の岩陰で昼食。陽ざしが

温かい。濡れた上着は木の枝に広げて乾かす。我々の後にもたくさんの人が上ってきて一層山頂はにぎやかになる。ほとんど初狩駅からのようで我々のルートで登ってくる人はいなかった。

どなたかの梅酒が美味しい。持ち寄りの料理でお腹はいっぱいでコーヒーはやめにしました。

1時30分、アイゼンを付けて下山開始。大月駅方面を目指す。午後になっているので霧氷は溶けているかと思ったがまだまだ凍ったままだ。さすが標高1000m付近は気温が低いようだ。

雪の多い登山道を慎重に降りてゆく。アイゼンを着けているので安心感があ



り深い雪も楽しみなが降りてゆけることができない。ロープの付いているところもあり、最初はかなり急な道が続く。穏やかな

道になるとのんびりと歩ける。

2時45分、田

野倉駅への分岐が右に出る。時間を

考えてこちらに降りることにする。

降りてすぐ先の左側に馬頭観音がある。石碑の横に小

さな観音像が三体並んでいる。

2時50分、弁

慶岩。大きな岩がある。

3時12分、林

道に出る。アイゼンを外し、再出発。高速道路をくぐり、左方向へ進んで桂川を

渡り、3時45分、田野倉駅に到着。

4時22分の電車で大月に向かうが、なんと来た電車がトーマスランド号。機関車トーマスの声で車内放送があり、子

供たちはそれに合わせて一緒に楽しんでいる。車内の飾りも派手派手で少し落

ち着かないが無事に大月へ到着。

解散。有倉、宗像夫人と別れ、川名夫人、星野、戸丸の3人は駅前に新しくで

きたお店で打ち上げ。川名夫人の頼んだお茶碗で飲む、ワインの飲み放題がちょ

っと面白かった。



